

(仮称)浜田歴史資料館の整備案について

1 平成 28 年度(仮称)浜田歴史資料館整備計画とそれに対する意見

(1) 当初計画の概要

施設名	延床面積	構造	展示内容
本館 (新設)	1,445 m ²	鉄筋コンクリート造 2階建	浜田の歴史(全般)、浜田城、郷土の偉人、 企画展示、映像シアターほか
別館(御便殿)	539 m ²	木造平屋建	石見神楽、産業文化、御便殿ほか
合計	1,984 m ²		

(2) 当初計画の整備費及び運営費

整備費	1,128 百万円	運営費(年間見込額)	43.3 百万円
内訳		内訳	
本館(新設)	818 百万円	支出(46.0 百万円)－ 収入(2.7 百万円) ①	43.3 百万円
別館(御便殿)	150 百万円	既存資料館及び御便殿 の統廃合効果 ②	10.7 百万円
展示関係	160 百万円	実質増額 ①－②	32.6 百万円



西側(浜田川方向)からのイメージ
＜新設建物(左)と御便殿(右)＞



東側(商工会議所方向)からのイメージ
＜御便殿(左)と新設建物(右)＞

(3) 当初計画に対する意見

(仮称)浜田歴史資料館の整備計画に寄せられた意見には、賛成意見がある一方で、次のような反対意見や慎重な意見、提案を頂いた。

- ・事業費が高額であること(11億2,800万円)
- ・維持管理費が高額であること(年間の実質増額3,300万円)
- ・優先する事業があるのではないか
- ・建物整備をする時代ではないこと
- ・立地に係る安全性(津波、浸水の不安)に懸念があること
- ・既存施設の活用を検討すべき(図書館、美術館の利用)

2 見直し案

平成 28 年度整備計画に対する意見を踏まえて、整備の方向性、整備するとした場合の場所、建設費、運営費などを中心に以下 3 つの案について提案する。

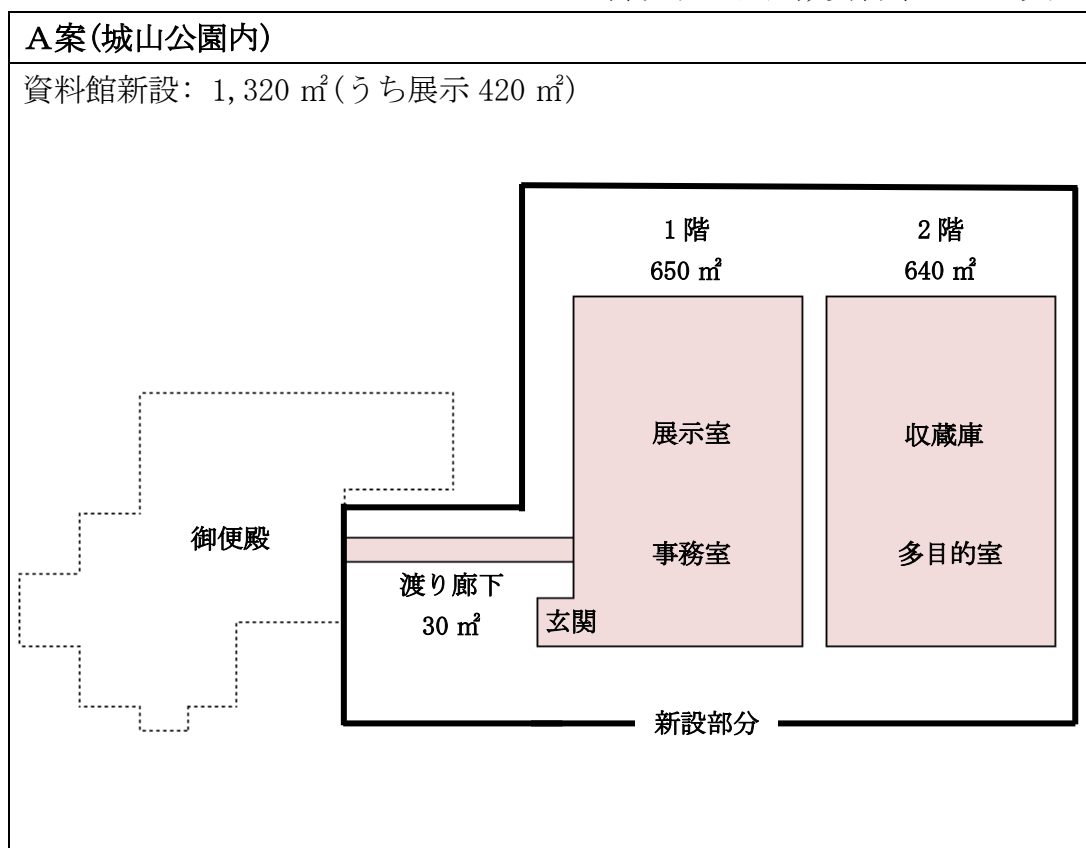
単位：m ²		単位：m ²		
区分	当初	A案 (面積縮小)	B案	C案
位置等	城山公園内 御便殿周辺 に整備	城山公園内 御便殿周辺 に整備	中央図書館 隣接地に整備	こども美術館 を一部改修し 建物海側に 増設
全体面積	1,445	1,320	1,640	520
内 訳	展示室	420	420	420
	収蔵庫	300	300	0 (既存施設の 改修により 対応)
	事務室	100	30	0
	玄関関係	130	80	300
	トイレ	50	50	0
	その他	445	440	540
御便殿	539	浜田城資料館として改修中のため省略		

各案の詳細は次ページ以降

3 3案（A～C案）の詳細について

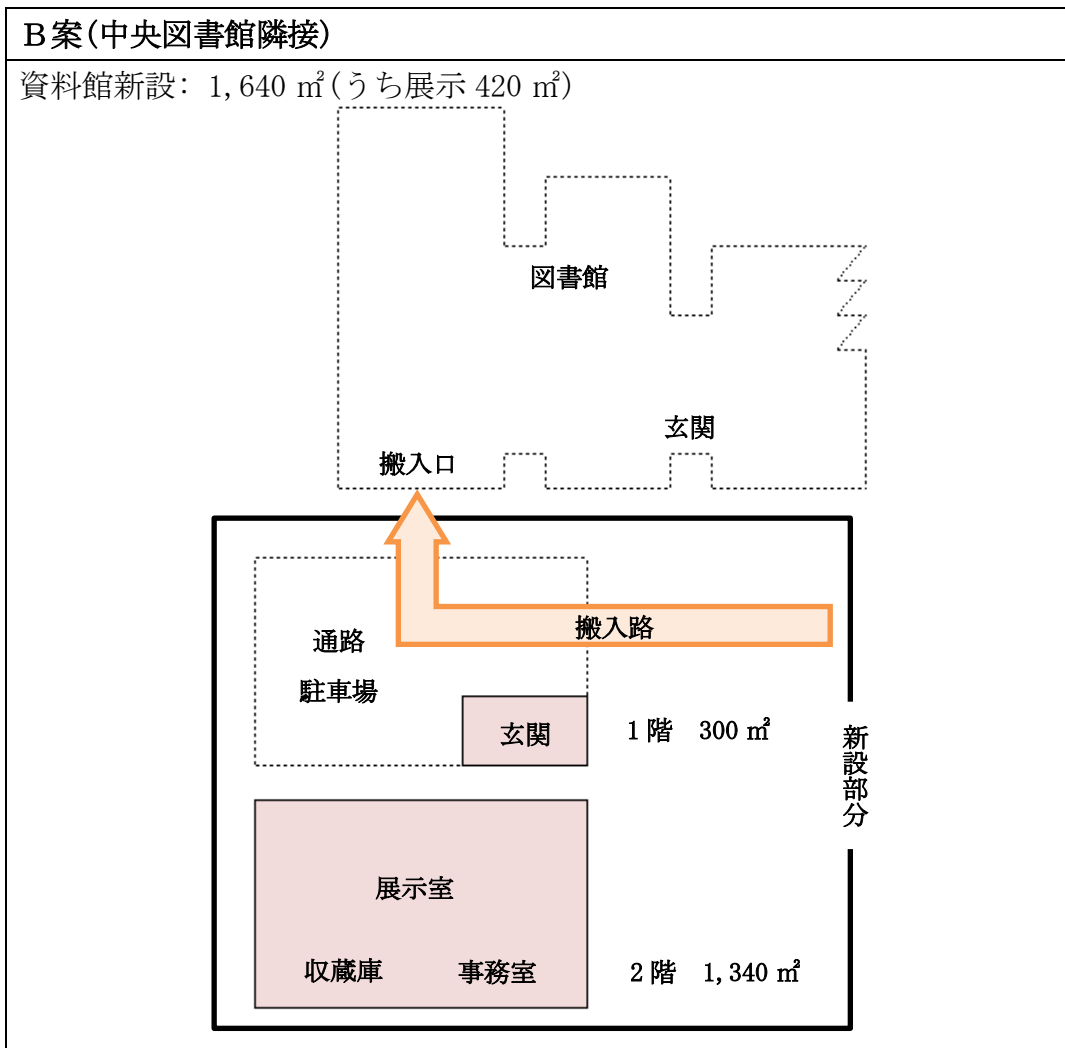
A案：城山公園内（御便殿周辺）に整備

※御便殿：浜田城資料館として改修



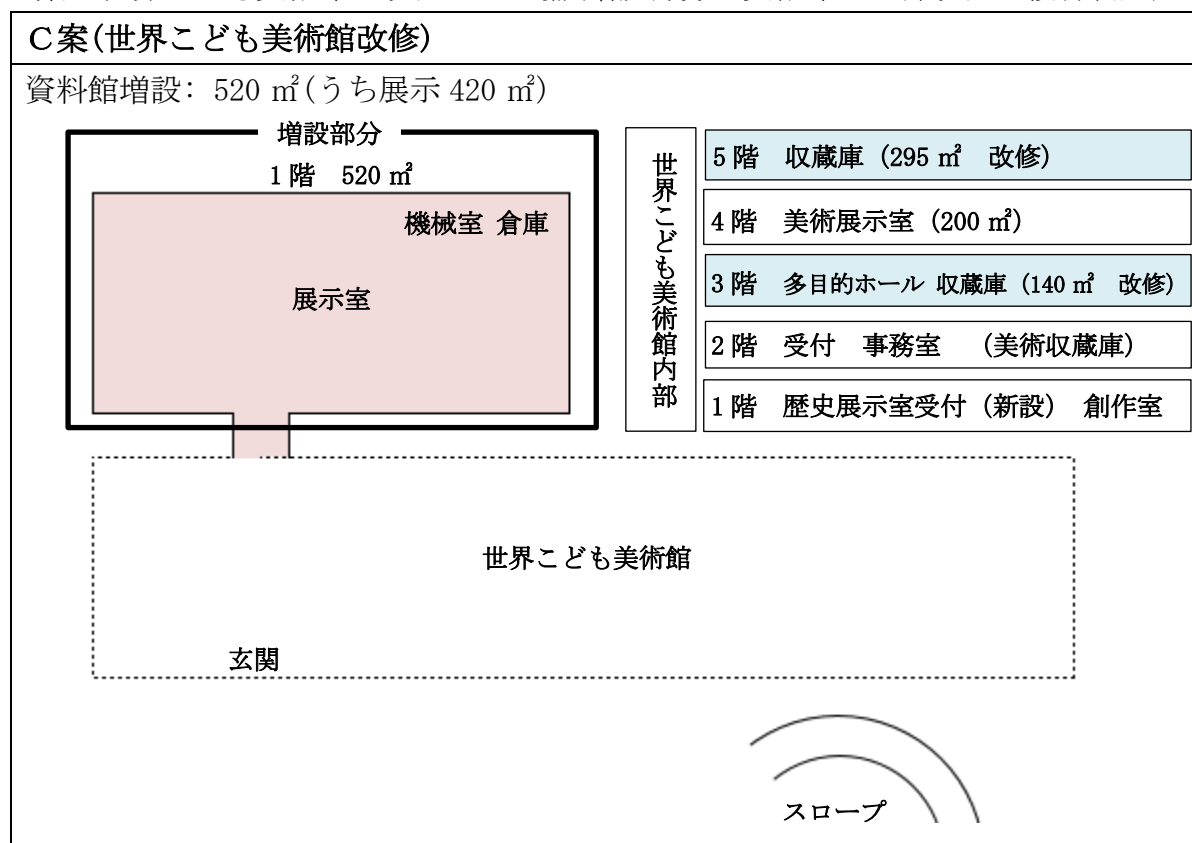
	全 体	面積 (単位: m ²)	概 要
		1,320	
用 途	展示室	420	常設展示室、企画展示室
	収蔵庫	300	収蔵庫 (古文書・歴史)、特別収蔵庫
	事務室	30	職員 7 人
	玄関等	80	玄関、エントランス
	トイレ	50	男性、女性、多目的
	その他	440	機械室、荷解室、廊下、階段、渡り廊下
この案の特徴			
<ul style="list-style-type: none"> ・浜田城資料館との一体的活用を図ることができる。 ・城山公園内であることから、自然や歴史的環境に恵まれている。 <p>※ 御便殿付近の津波による最大の浸水の深さは 30cm 未満(出典:浜田市津波ハザードマップ)であることから、展示物への影響はないものと思われる。</p>			

B案：中央図書館に隣接して整備



	全 体	面積 (単位:m ²)	概 要
		1,640	
用 途	展示室	420	常設展示室、企画展示室
	収蔵庫	300	収蔵庫 (古文書・歴史)、特別収蔵庫
	事務室	30	職員 6 人
	玄関等	300	玄関、1階・2階エントランス
	トイレ	50	男性、女性、多目的
	その他	540	機械室、荷解室、廊下、階段、EV
この案の特徴			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 物資搬入路及び駐車場を確保するために1階を下駄履き形式の2階建とする。 ・ 構造上、玄関、エントランス、廊下等の面積が広がる。 ・ 図書館と隣接することで、相互活用を図ることができる。 			

C案：世界こども美術館を改修して整備(増設部分と美術館の一部改修で複合利用)



	全 体	面積 (単位:m ²)	概 要
		増設:520 +美術館改修:566	
用 途	展示室	420	増設 別に美術展示室 200 m ²
	収蔵庫	0	既存展示室を改修 430 m ²
	事務室	0	美術館と共用 職員3人
	トイレ	0	美術館と共用
	玄関等	0	美術館と共用
	その他	100	増設 機械室、倉庫

この案の特徴

- ・美術館1階の海側に歴史展示室を増設
- ・博物館系の類似施設として一体的な施設とすることができる。
- ・施設の複合化により事務室やトイレ、玄関等を共用できる。

※ (仮称) 浜田歴史資料館と世界こども美術館の複合化における考え方
複合化した場合には、新たな展示室及び収蔵庫の確保が必要となるが、美術館の構造上、展示ケースの設置が困難なため、展示室は別棟を増設し、収蔵庫は美術館内の改修により確保するもの

4 整備費及び運営費の比較

ア 整備費

単位：百万円

区分	H28 年度提案	
	H28 試算	R1 試算
全体面積(m ²)	1,445	1,445
資料館(新設・増設)	818	916
資料館展示関係	160	302
美術館(改修)	—	—
御便殿(改修・ソフト)	150	82
整備費合計	1,128	1,300

単位：百万円

A案	B案	C案
1,320	1,640	520
844	1,087	315
302	302	302
—	—	176
82	82	82
1,228	1,471	875

イ 運営費

単位：百万円

区分		H28 年度提案		
		H28 試算	R1 試算	
運営費	歴史資料館	人件費	9	26
		職員数	館長 0人 職員 0人 臨時等 4人 文化振興課職員 4人	館長 1人 職員 2人 臨時等 4人
		施設管理費	34	42
		小計	43	68
	御便殿	人件費	—	—
		職員数	—	—
		施設管理費	—	—
		小計	—	—
	合計		43	68
	既存施設運営費減額分 ※①	美術館(現行60百万円)		
郷土資料館等(現行10百万円)		△10	△10	
整備後の実質増額分		33	58	

単位：百万円

A案	B案	C案
26	24	11
館長 1人 職員 2人 臨時等 4人	館長 1人 職員 2人 臨時等 3人	館長 0人 職員 1人 臨時等 2人
38	34	13
64	58	24
—	3	3
—	臨時等 2人	臨時等 2人
—	4	4
—	7	7
64	65	31
		△10
△10	△10	△10
54	55	11

※① 既存施設運営費減額分：(仮称)浜田歴史資料館の完成に伴い、削減可能な運営費

(注) 各案にかかわらず、世界こども美術館では、別途約150,000千円修繕費が必要(空調修理、外壁修繕)

5 「浜田市中期財政計画」との関係

平成 30 年度中期財政計画の事業費（1,128 百万円）との差

区分	A 案	B 案	C 案
整備費	1,228 百万円	1,471 百万円	875 百万円
1,128 百万円との差額	+100 百万円	+343 百万円	▲253 百万円

6 「浜田市公共施設再配置方針」との関係

ア 既存施設の方針（平成 28 年 3 月作成方針）

既存施設名	施設別方針	延床面積
浜田郷土資料館	統廃合	479.48 m ²
金城民俗資料館	統廃合	268.20 m ²
金城歴史民俗資料館	統廃合	174.22 m ²
旭歴史民俗資料館	統廃合	387.13 m ²
弥栄郷土資料展示室	統廃合	173.07 m ²
三隅歴史民俗資料館	統廃合	405.74 m ²
合 計		1,887.84 m ²

（参考）1,887.84 m²×7 割＝1,321.49 m²

イ 70%試算延床面積（1,321.49 m²）との差

区分	A 案	B 案	C 案
面積	1,320 m ²	1,640 m ²	520 m ²
1,321.49 m ² との差	▲1.49 m ²	+318.51 m ²	▲801.49 m ²

※現在、支所空スペース等を活用した資料展示を検討中。

また、金城民俗資料館、金城歴史民俗資料館については存続を検討中。